

田原菜の花エコプロジェクトにより遊休農地を解消しています



遊休農地(谷熊町)



遊休農地での作業(谷熊町)



満開の菜の花畑(加治町)



引き渡された農地(大久保町)

愛知県田原市では、露地栽培から施設園芸などへの転換に伴い、年々農地が荒廃し遊休農地が増加し、農村地域の環境保全や景観形成に悪影響を及ぼしていました。そのため、農業委員会では平成元年から遊休農地の実態調査を開始しました。遊休農地増加の解決策として、平成11年度に農業委員自らが行動を起こし、荒れた農地から石を拾い、草刈りを行い、早咲きの菜の花の種をまきました。20aの荒れた農地を菜の花畑に変えたことが資源循環型社会の切り札として市民と行政が連携・協働して進めている「田原菜の花エコプロジェクト」推進のはじまりとなりました。また、平成15年度に田原市の「たはらエコ・ガーデンシティ構想」が環境共生まちづくり関係府省連絡会議において全国モデルに選定され、主要施策として「田原菜の花エコプロジェクト」を位置づけたことから資源循環型社会の構築や地球温暖化対策を展開するきっかけとなりました。

平成18年度に熱意のある農業委員やボランティアが集まり特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワークを設立し、積極的に菜の花栽培の拡大を図るとともに各地域での個人・グループが中心となる田原菜の花エコプロジェクトの取り組みを支援しネットワークを構築してきました。保育園・小中学校などでの菜の花種まき体験や収穫体験などを行うことによりネットワークはさらに広がり、日本風景街道事業にも発展的な広がりをみせています。令和3年度、市内には菜の花畑が約100か所に点在し、総面積は約17haに及んでいます。

平成18年度から令和3年度まで106か所(約14ha)の農地が露地栽培を希望する担い手へ橋渡しされ、遊休農地が着実に解消されています。

家庭の廃食用油(天ぷら油など)を回収しています

家庭から出る廃食用油を回収しています。回収した廃食用油は、バイオディーゼル燃料にリサイクルします。廃食用油を資源として活用することで、市内のごみの減量化を図るとともに市民一人ひとりまで浸透した資源循環型社会の構築を目指します。

回収している油

植物性油(なたね油、キャノーラ油、コーン油、米油、大豆油、ごま油、綿実油、落花生油、ひまわり油、サフラワー油、べに花油、オリーブ油など)

※家庭の廃食用油に限ります。

回収方法

- 1 固形物(テンカスなど)を取り除く。
- 2 油を冷ました後、ペットボトルなど密閉できる容器に入れ、キャップをしっかりと閉める。
- 3 回収箱に、廃食用油を入れたペットボトルなどを立てて入れる。

※びんは不可です。

問 合 先 田原市市民環境部 廃棄物対策課 Tel ● 0531-23-3538

回収場所

	回収施設	回収時間
公共施設	田原市役所(北庁舎玄関)	8:30~17:15
	赤羽根市民センター	
	渥美支所	
	東部資源化センター	8:30~12:00 13:00~16:30
	赤羽根環境センター	
渥美資源化センター	9:30~20:00	
フードオアシスあつみ田原店		
フードオアシスあつみ福江店		
協力店舗	ショッピングセンターレイ	9:30~19:30

●問合先 田原菜の花エコ推進協議会 田原市市民環境部環境政策課
〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1
tel 0531-23-3541 fax 0531-23-1832 E-mail ● kankyo@city.tahara.aichi.jp